

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22年 5月 6日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2772403164		
法人名	有限会社 篠原		
事業所名	グループホーム こみち		
サービス種類	介護予防認知症対応型共同生活介護		
所在地	枚方市招提元町2丁目2番1号		
自己評価作成日	平成 22年 4月 15日	評価結果市町村受理日	平成 年 月 日

【事業所基本情報】

① 介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	
② 情報提供票を活用する場合	

① 基本情報リンクURLを記入 ② 別紙情報提供票のとおり

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
所在地	大阪市東住吉区山坂五丁目5番14-103号
訪問調査日	平成 22年 5月 2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

田園に隣接した静かな住宅地でお一人お一人を大切にしたい、少人数で家庭で生活している様な環境です。ごすことにより、不安を感じさせず、心身の状態を穏やかに保つようにホームの畑に行き農作物の収穫を行ったり花壇の草引きをしたりと自然に触れる機会を多く行います。また、近所の保育園の園児と定期的に交流を持ったり、毎月の音楽療法等の様々な交流を通じ、毎日楽しく過ごしていただけるホーム作りを目的としています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者が少人数のホームで開設以来4年半を経過し、介護する職員もベテランの方々を中心となり、思いやりと気遣いのある、家族と同じような生活が続けられるように努力している。これは、ご家族アンケートの集計結果にも表れているが、特に入所してから、生き生きとした表情に替わり、たいへん満足しているという喜びの声からも裏付けすることができる。

新築1階建て木造のホームで、共用の広間の雰囲気は、のびのびとして落ち着いた気分となります。

所在地は、明治時代以前からの面影を持った、寺内町(じないちょう)の外れで、寺内町の中の通路は時代劇の舞台の雰囲気があり、自動車も殆ど通行しないので、利用者は気楽に散歩を楽しんでいる。

今後も、初心を忘れずに地道な工夫の積上げを心がけて、ご期待に応えてください

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○ 理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用さん1人1人を大切にし、少人数の家庭の雰囲気の中で気楽に生活をしていただくことを理念としている	地域に根付き、利用者の生活に寄り添うホームとしての経営理念を掲げ、職員とは毎月第1(水曜日)午後には会議を開き、指導している	
2	2	○ 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として、日常的に交流している	散歩コースにお寺、公園等を入れているのであいさつをしたり、言葉を交わす機会を多く持っている	盆踊り、地藏盆、秋祭り、敬老会、運動会等の諸行事に参加している	
3		○ 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や、支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	「認知症」を理解していただくため地域、病院、行政と協力して講座開催を行っている		
4	3	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一度、推進会議を行っている。地域会長、地域包括支援センター、家族、施設長、管理者で行っている	会議ではホームの諸報告後、ご出席の各委員さんから地域の情報を頂き、介護に役立たせている	
5	4	○ 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括センターを中心に区域のグループホームの代表者が意見交換会を開いている	管理者は、市のご担当者や、包括センターとの連携も直接行なっている	
6	5	○ 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて、身体拘束しないケアに取り組んでいる	制度についてはスタッフ会議の中で学ぶ機会を持ち、相談のあった場合は制度について情報提供を行い支援を行っている	身体拘束については職員と研修を重ねているが、玄関の施錠については原則的に行っていない	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○ 虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	理念において虐待はあってはならないことであり、理念に基づいた支援を目指し知識を学ぶ学習会を行う		
		○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	知識を学ぶ学習会を行い資料を地域包括センター、市役所等に行き集め、学習を行う		
9		○ 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書、重要事項説明書に基づいて説明を行い、質問、要望などに応えている		
	6	○ 運営に関する利用者、家族等の意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員、並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族と連絡を密に行い、意見を言っていただき、その意見を全体に反映している	定期的な文書で、利用者の近況報告をしている	
11	7	○ 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や、提案を聞く機会を設け、それらを反映させている	月一回スタッフ会議を行っている	管理者は会議だけでなく、日常的にも職員と一緒に介護に携わっており、自由な対話が進めている	
	12	○ 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう、職場環境・条件の整備に努めている	離職者を最小限にする為にシフトに工夫を行い無理のないようにしている		
13		○ 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の得意、不得意を明確にして課題別研修または個別に研修を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○ 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	施設連絡会や近隣のグループホームと交流を行っている		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○ 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族から入所の相談を受けた場合、可能な限り本人様同行の見学を勧めている。自宅に本人を訪ね安心感、信頼関係を築き、コミュニケーションを図っている		
16		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	電話、訪問による相談は随時対応しています 内容によっては調べ、後日連絡する等行うようにしている		
17		○ 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	緊急性が高いと思われる方、経済的な面等により判断して、状況を判断し情報提供を行っている		
18		○ 本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を支援される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に過ごせることの喜びを意図的に伝え感謝したり、互いの身の上を話したり、共感し合うことに努めている		
19		○ 本人と共に過ごし支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	施設の生活をこまめに伝え家族、職員と一緒に本人を支えている関係を築いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や、場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時、本人のこれまでの生活の中で大切にされてきたことの把握に努め、可能な限り関係継続、支援に努めている	ご家族とは、通常の来訪以外にも、ホームでの諸行事と一緒に楽しんで頂ける内容も案内し、喜んでいただいている	
21		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	楽しいレクリエーション、外出、買い物、作業等を行い共有する場所作りをしている		
22		○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も家族の相談に応じたり本人を見舞い、面会を行っている		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○ 思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	退去後も家族の相談に応じたり本人を見舞い、面会を行っている	利用者一人ひとりに寄り添い、対話を重ねている。ある方が特定のプロ野球ファンであることを聞き出し、同じ球団であることが分かり、喜ばれている	
24		○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人から得られた情報、家族からも情報をいただき、これまでの暮らしを大切にしている		
25		○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の、現状の把握に努めている	体操、散歩、家事などの日課を作りその関わる姿勢を見て現状把握に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○ チームでつくる介護計画とモニタリング	本人の希望や思いを基に職員で情報をまとめ、家族の面会時に伝え、家族の意見も取り入れ介護計画に反映させている	職員は利用者一人ごとの対話や、寄り添いケアの際の聞き取りの工夫等をしながら、お聞きした意向を職員一同で集約し、介護に活かせるように努めている	
		本人がより良く暮らすための課題と、ケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している			
27		○ 個別の記録と実戦への反映	記録に工夫を行いチェック一覧表も見直して、結果をまとめやすくする 対応も早く出来るように努めている		
		日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている			
28		○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	書類等の申請、更新の代行を行っている		
		本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援や、サービスの多機能化に取り組んでいる			
29		○ 地域資源との協働	ボランティアを依頼している 地域の催し物には積極的に参加している		
		一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している			
30	11	○ かかりつけ医の受診診断	医師に職員の意見や思いや考えを伝えるノートを作成している	契約内科医師が、総合病院等と連携しているので、入院治療については利用者に安心して頂いている、歯科医師は往診している	
		受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している			
31		○ 介護職員との協働	看護師との連絡ノートを利用して報告や相談を蜜に行っている		
		介護職員は、日常の関わりの中で、とらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
32		<p>○ 入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入院に至るまでに予測される心身の状況変化を踏まえて家族と事前に意思確認を行っている			
33	12	<p>○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で出来ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	家族・主治医と話し合いを持ち、その都度職員全員に方針を伝え共有している	利用期間の長期化に伴うことなので、職員との情報交換、ご家族、医師とも密に連絡を取る体制となっている		
34		<p>○ 急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は、応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	消防署等と連携し避難訓練、心肺蘇生法などの研修を行っている			
35	13	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を、全職員が身に付けると共に、地域との協力体制を築いている</p>	会議の際話し合い勉強会を持っている。また、消防署と連携し訓練を行ったり地域の訓練に参加している	消防署とも連絡をとりあっている。緊急電話は来年度実施予定。職員の緊急時の避難訓練は出来ている		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	<p>○ 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りや、プライバシーを損ねない言葉かけや、対応をしている</p>	一人ひとりの尊厳を大切に対応を心がけている。記録物は大切に保管、管理している	プライバシーの尊厳と保護について、職員研修と管理体制は出来ている		
37		<p>○ 利用者の希望の表出や、自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が、思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	本人への伝え方も家族様に確認して、納得してもらえる内容を選んでいる 不安な心情を理解し、家族と共に密な交流に努めている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	意欲を引き出し、出された希望に職員は柔軟な対応に努めている 本人の持っている力に支援を行っている		
		○ 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみや、おしゃれが出来るように支援している	外出時には化粧を施し、普段でも整髪等鏡を見る習慣にしている 月一回訪問美容行っている		
40	15	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みを把握して食べ物にも配慮を行い、配膳、茶碗洗いなども一緒に行っている。下肢の自由が利く方には下膳もお願いしている	季節に合わせた食材で楽しんで頂いている、体重管理もできている、利用者の手伝いは出来る方だけになっている	
		○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	普段の会話の中から本人の好みを聞きその時に合ったバランスを考えたメニュー作りに努めている		
42		○ 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や、本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行い、1日1回義歯はポリドントにて消毒を行う 必要な方は訪問歯科を行い連携をはかる		
	43	16	○ 排泄の自立支援 排泄の失敗や、おむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や、排泄の自立に向けた支援を行っている	オムツの使用はプライドや自責の念に配慮しながら気持ちよく排泄できるよう支援している	定期的に利用者が安心感を持ってトイレへ行けるように誘導し、やさしく見守っている。 又、排泄記録表に基づき、自立度により排泄支援をしている
○ 便秘の予防と対応 便秘の原因や、及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる			健康管理表を作り個人の排泄排便を記録し把握する。食事やおやつ の材料にも配慮する		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように、職員の都合で、曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴嫌いの利用者には入浴したいと思えるようにそれぞれ効果的な理由付けの声かけをしている	かなり自由に入浴して頂けるようしている	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣や、その時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	音や光に配慮を行い一人ひとりの不安や心配事を解決してもらえるように声かけをしている		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と、症状の変化の確認に努めている	調剤薬局からの処方箋を基に把握する。また個人記録に様子や変化の観察を行い記入し把握する		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や、力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の自発的な役割分担を促しながら張り合いのある日々を過ごせるように支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの希望にそって戸外に出かけられるように支援している	殆ど全員の方々に散歩に出て行って頂けるようにしている。ホームの小農園が整備され、花や野菜類の栽培が、利用者の楽しみとなりつつある	
50		○お金の所持や、使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している	金銭管理は行っていない		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○ 電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に、本人自らが電話をしたり、手紙のやりとりができるように支援している</p>	<p>個々の能力に応じて発信している</p> <p>暑中見舞い、年賀状の発送も行っている</p>		
52	19	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な混乱を招くような刺激(音、光、色、広さ、温度など)が無いように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地良く過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有部分は季節ごとに椅子カバー等を衣替える。庭には季節の花を利用者と植え配置する。また、壁面には毎月季節の物を飾るよう工夫する</p>	<p>共有の広間はかなり広く余裕があり、部屋全体のムードとしては高齢者の好みに合うように、落ち着いた応接間となっている</p>	
53		<p>○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で、思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファの配置、中庭を見ながら過ごせるスペース等配慮し また食卓の席にも配慮している</p>		
54	20	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや、好みのものを活かして、本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節ごとの衣類の入れ替え</p> <p>御本人が作成されたものや家具等の持ちこんでもらって居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者と、ご家族で相談しながら季節ごとの入れ替え等をしていただいている</p>	
55		<p>○ 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつ、できるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>注意の必要な物品はなるべくスタッフの目に付くところに置き、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		

V アウトカム項目		
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ① ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
58	利用者は一人ひとりのペースで暮らしている	○ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており、信頼関係ができている	○ ① ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどいない
64	通いの場やグループホームに、馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ① 大いに増えている ② 少しずつ増えている ③ あまり増えていない ④ 全くない
66	職員は生き活きと働けている	○ ① ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスに、おおむね満足していると思う	○ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスに、おおむね満足していると思う	○ ① ほぼ全ての家族が ② 家族の2/3くらいが ③ 家族の1/3くらいが ④ ほとんどいない